上山建設　株式会社

2023年度　環境経営レポート

（対象期間：2023年7月1日～2024年6月30日）

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です
®環境省
エコアクション21
認証番号 0010900

丹波篠山市の豊かな自然との共存を目指して
上山建設はエコアクション21に取り組んでいます。

発行日　令和6年10月29日

【目　次】

① 環境経営方針 P1

② 組織の概要(事業者名、所在地、事業の概要、事業規模など) P2～3

③ 対象範囲（認証・登録） P4～5

④ 環境経営目標と実績 P6

⑤ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組み内容 P7

⑥ 環境関連法規等の遵守状況 p8

⑦ 代表者による全体評価及び見直し・指示 p8

⑧ EA21社内活動の紹介 p9

①【環境経営方針】

上山建設　株式会社

環境経営方針

〈基本理念〉

当社は、1972年7月（故）上山　登　が従業員2名とトラック1台から始めた会社です。
当時わが国の道路は、舗装されていない地道が多く、いったん雨が降るとぬかるみに車輪を取られ車を走らすのも大変な時代でした。その道路改良からスタートし、以来多数の土木建設業に携わってきました。
ますます深刻化する地球温暖化や今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識を持つとともに、 社会情勢の変化による物価急変・資機材確保の困窮を予測しながら、カーボンニュートラルの実現及びSDGsの取組にむけて、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。
また、少子化に伴う人口減少による、「人材確保の困難」を意識しながら会社運営に心がける。

〈環境保全への行動指針〉

1.具体的に次のことに取り組みます。

（1）環境関連法規等や当社が約束したことを遵守します。
（2）ICT活用など、省エネ推進により、二酸化炭素削減に努めます。
（3）廃棄物排出量の削減（建設リサイクルの推進）。
（4）適正な利用により水使用量の削減に努めます。
（5）産業廃棄物中間処理の効率化を図る。
（6）環境・品質・安全に配慮した建設工事の推進。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、
継続的な改善に努めます。

2.環境関連法規制等や当社が約束したことを遵守します。

3.環境経営方針を全従業員に周知徹底する。

制定日　平成26年12月1日
改定日　令和2年6月1日
代表取締役社長
雪岡　尚弘

②【組織の概要】

(1) 事業所名及び代表者名

上山建設株式会社
代表取締役　雪岡　尚弘

(2) 所在地

本　社　669-2213　兵庫県丹波篠山市中野45番地
産業廃棄物中間処理場　669-2823　兵庫県丹波篠山市大山下字山代の坪192番地
資材倉庫　669-2222　兵庫県丹波篠山市味間南113番地1
資材置場　669-2461　兵庫県丹波篠山市小枕250番地3

(3) 環境管理責任者及び連絡担当者

環境管理責任者　宮脇 典行(総務部長)
連絡担当者　同上
TEL:079-594-0109
メールアドレス: miyawaki@ueyamakk.com

(4) 事業概要

法人設立　昭和37年7月1日
資本金　4000万円

(5) 事業の規模及び概況

活動規模	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
工事件数	件	57	54	26	44	41
売上高	百万円	960	723	692	962	703
従業員	人	35	35	32	34	31
事務所床面積	㎡	339	339	339	339	339
資材倉庫面積	㎡	333	333	333	333	333
資材置場面積	㎡	757	757	757	757	757
工場・作業所等床面積	㎡	9,598	9,598	9,598	9,598	9,598

建設工事の概要

区 分	元 請	下 請
工事件数	38	3

(6) 受託した産業廃棄物の処分量(2023年度)　※適用外

		元請工事分(t)	他社受入れ分(t)	合　計(t)
	※収集運搬量	125.20	0.00	125.20
	中間処理量	125.20	4,396.30	4,521.50
中間処理後	再資源化(再生砕石など販売量)	369.23	7,279.39	7,648.62
	最終処分量【再資源化(鉄くず等有価物)】	0.00	0.00	0.00
	最終処分量(埋立)	8.00	0.00	8.00

(7) 許可・登録の内容

種　類	発行者	許可番号	許可の有効年月日	取扱産業廃棄物の種類
産業廃棄物 収集運搬業	兵庫県	第2808021786号	令和3年7月17日 ～ 令和8年7月17日	1.廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類(石綿含有産業廃棄物を含む) 2.紙　3.木　4.繊維5.ｶﾞﾗｽ,ｺﾝｸﾘｰﾄ及び陶磁器類のくず(石綿含有産業廃棄物を含む) 6.がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)以上6種類
産業廃棄物処分業 (中間処理業)	兵庫県	第2808021786号	令和3年7月17日 ～ 令和8年7月16日	1.がれき類 (石綿含有産業廃棄物を含む) 以上1種類
種　類	発行者	許可番号	許可の有効年月日	建設業の種類
特定 建設業	兵庫県	(特-27) 第751681号	令和3年1月10日 ～ 令和8年1月9日	・土木工事業　・建築工事業 ・とび,土工工事業　・石工事業 ・鋼構造物工事業　・ほ装工事業 ・しゅんせつ工事業　・塗装工事業 ・防水工事業　・内装仕上工事業 ・水道施設工事業

(8) 車両台数

車　種	台数	車　種	台数
2tダンプ	1　台	タイヤローラー	1　台
3tダンプ	2　台	グレイダー	1　台
4tダンプ	3　台	軽自動車	1　台
軽トラック	6　台	パワーゲート	1　台
普通車バン	1　台	バックホウ	19　台
軽バン	9　台	3tユニック	1　台
ハイエース	1　台	計ダンプ	1　台
スイーパー	1　台	パッカー車	1　台
トイレットカー	2　台	散水(ローリー)車	1　台
10t台車(重機運搬トレーラー)	1　台	タイヤショベル	1　台
10tダンプ	1　台	合　計	56　台

(9) 主要設備

名　称	台　数	処理能力値	備　考
破砕機ﾊﾝｸﾞﾊﾞｸﾄ PEH-Ⅲ	1　基	320　t/日	8時間稼働時能力
BDF精製ﾌﾟﾗﾝﾄ本体 他一式※	1　基	800　t/日	9時間稼働時能力
焼却炉(自社請負分のみ)	1　基	146　kg/時	6時間稼働時能力

※1-BDF精製プラントは現在休止中

(10) 廃棄物処理のフロー図

〈原材料〉

・ｺﾝｸﾘｰﾄがら
・ｱｽﾌｧﾙﾄがら
・瓦　がら

→

〈原材料の運搬〉

・産業廃棄物収集運搬業
(許可番号：第2808021786号)

→

〈中間処理場〉

・産業廃棄物処理業
(許可番号：第2828021786号)

↓

〈再資源化〉

・再資源化（有価物）
・再生路盤材（売却）

③【対象範囲(認証・登録)】

□対象範囲(認証・登録)

※全組織・全活動を対象範囲とする。

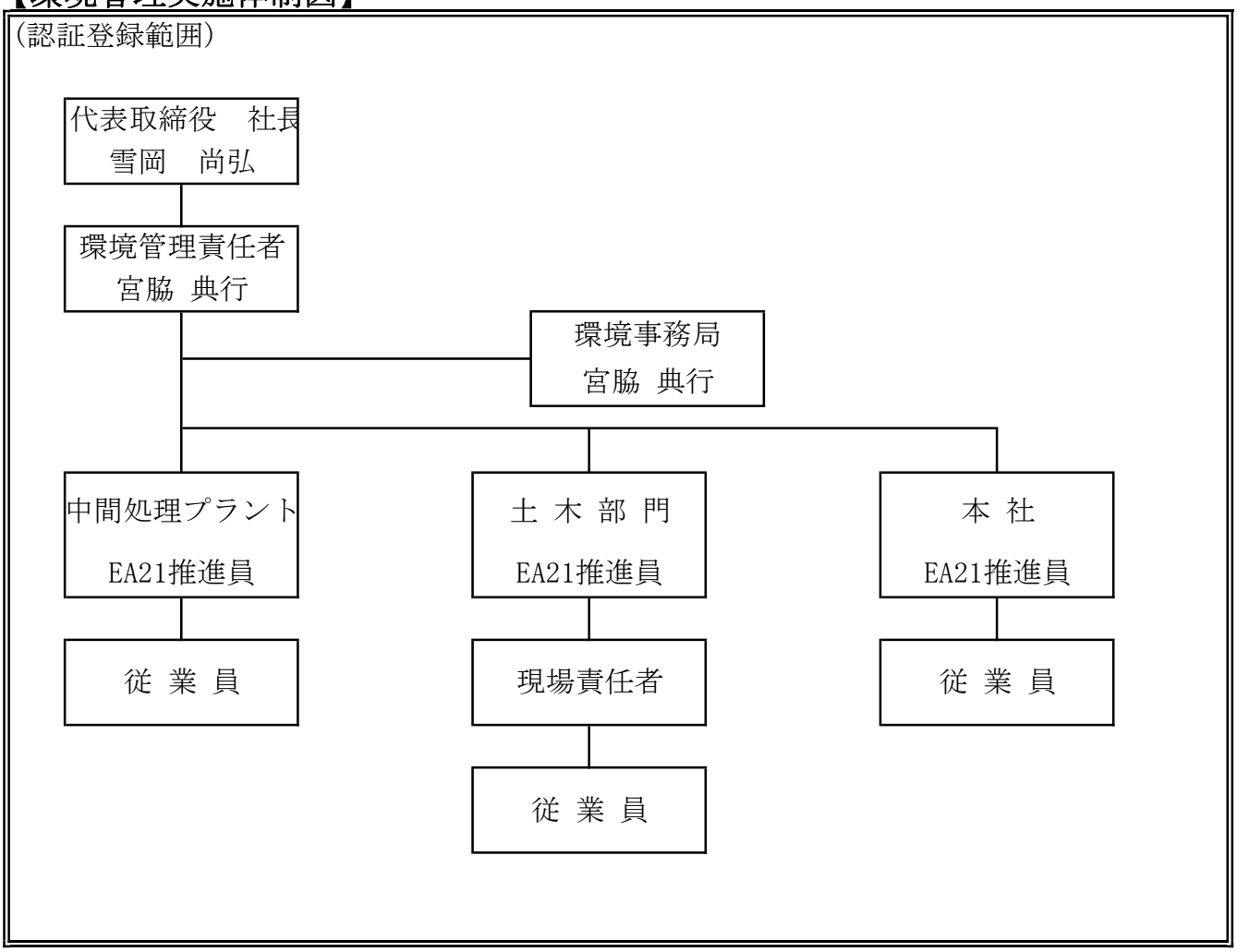
(1) 登録組織名： 上山建設株式会社

(2) 対象事業所： 本社
産業廃棄物中間処理場
資材倉庫
資材置場

(3) 対象活動 ： 土木・建築業、産業廃棄物中間処理業
不動産

(4) 事業年度 ： 7月1日～翌年6月30日

【環境管理実施体制図】



役割・責任・権限	
代表者 （社長 雪岡尚弘）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者 （宮脇 典行）	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境経営目標、環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局 （宮脇 典行）	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA推進者	・各部門における環境経営方針の周知 ・各部門へのEA21に関する報告
部 門 長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

④【環境経営目標と実績】

□環境経営目標及びその実績(主な環境負荷の実績値を含む。)

（目標設定及び実績管理は原単位管理とする。）　＊削減率：（実績÷基準値）×100%

項目＼年度		基準値	2022年度		2023年度		2024年度
		基準年度（2018～2019年度平均値）	（目　標）	（実　績）	（目標）	（実績）	（目標）
電力使用量の二酸化炭素削減（本社・中間処理場）	kg-CO2	37,184		32,649		33,846	
	売上額(百万円)	855	－	962	－	703	－
	原単位目標（kg-CO2/百万円）	43.5	97% 42.2	【達　成】 33.9	96% 41.7	【未達成】 48.1	95% 41
〈ガソリン〉自動車燃料使用による二酸化炭素削減	kg-CO2	26,502		28,567		39,279	
	売上額(百万円)	855	－	962	－	703	－
	原単位目標（kg-CO2/百万円）	31.0	97% 30.1	【達　成】 29.7	96% 29.8	【未達成】 55.9	95% 29.4
〈軽　油〉重機燃料使用による二酸化炭素削減	kg-CO2	258,312		207,645		281,172	
	売上額(百万円)	855	－	962	－	703	－
	原単位目標（kg-CO2/百万円）	302.1	97% 293.1	【達　成】 215.8	96% 290.0	【未達成】 400.0	95% 287.0
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	**321,998**		**268,861**		**354,297**	
建設廃棄物の再資源化	①破砕処理量（t）	5,680		16,523		4,522	
	②最終処分（t）	49	－	0	－	8	－
	再資源化率（①－②）／①	99.1%	99%	【達 成】 100.0%	99%	【達　成】 99.8%	99%
水道水の削減	m^3	642		642	－	788	－
	売上額(百万円)	855	－	962	－	703	－
	原単位目標（m^3/百万円）	0.75	97% 0.73	【達　成】 0.67	96% 0.72	【未達成】 1.12	95% 0.71
一般廃棄物の削減	kg	472		465	－	627	－
	売上額（百万円）	855	－	962	－	703	－
	原単位目標（kg/百万円）	0.55	98% 0.54	【達成】 0.48	96% 0.53	【未達成】 0.89	95% 0.52
建設現場の経営課題への取組み	ICT施工数		1件以上	1件	1件	1件	2件
	クレーム件数		0件	0件	0件	0件	0件
	事故・災害		0件	0件	0件	0件	0件
	週休2日制取組件数		1件以上	1件	1件以上	2件	1件以上

※電力CO2排出係数（調整後排出係数）：2018度関西電力二酸化炭素係数：0.334kg-CO2/kWh適用（関西電力）

※ガソリン：二酸化炭素排出係数　2.32kg-CO2/L　軽油：二酸化炭素排出係数　2.58kg-CO2/L

⑤ 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組み内容

＊達成率：削減目標＝（目標÷実績）×100%

＊取組内容の達成状況：○できた　△ほぼできた　×全くできなかった

環境活動計画の内容	達成状況	その評価・次年度の取組み
◎電力使用による二酸化炭素排出量削減	87%	≪目標未達成≫ 本社の取り組みとして、事務所改修に際する照明のLED化などを進めてきた。 中間処理場は破砕機の稼働で変動があるが、清掃頻度を高めるなどして、EA21の取り組みの成果が出ていると確信しており、基準年に比して9,997kw/hの削減となっが、未達成となる。 （次年度） 引き続き取り組みを継続していく。
・空調温度の適正化（冷房２５℃　暖房２２℃）	○	
・作業をしていないときの電源ＯＮ/ＯＦＦの徹底	○	
・不要照明の消灯	○	
・現場などによる段取り時間短縮	次年度	
◎ガソリン使用による二酸化炭素排出量削減	53%	≪目標未達成≫ 比較的に大規模の現場が多かったことから、事務所等はら現場までの軽自動車の稼働が多くなり燃料消費量が増えてしまった。 今後においても、エコドライブの推進、移動時の効率化などを更に促進する。 （次年度） 更新時に低燃費車を選択するよう予算設定を要請する。
・ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟの徹底	○	
・エコドライブの周知徹底	○	
・効率的な移動	○	
・更新時に低燃費車を選択	次年度	
◎軽油使用による二酸化炭素排出量削減	73%	≪目標未達成≫ 現場仕事が請負額が増加したのに伴い、燃料消費量も増加してしまった。 今後においては、一層のエコドライブ推進、移動時の効率化などを更に促進する。 （次年度） 更新時に低燃費車を選択するよう予算設定を要請する。
・ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟの徹底	○	
・効率的なルートでの運搬	○	
・ハイブリッド重機の推進	次年度	
◎建設廃棄物の再資源化の推進	100%	≪目標達成≫ 入荷の段階で分別を強化することで作業効率が上がってきている。また、積極的に社外より廃棄物を受け入れる事により処理量も増えている。 （次年度） 破砕処理の効率化を図る。（出来るだけ集約して処理する）
・破砕処理後の分別を徹底する	○	
・収集、入荷時の分別を徹底する	○	
・破砕処理の効率化を図る	次年度	
◎一般廃棄物の削減	59%	≪目標未達成≫ 裏紙の使用や電子メール利用を積極的に行ない社員一丸となって削減に努めたが、売上が額が減少したことかた未達成となった。引き続き削減の徹底を図る。 （次年度） 引き続き取り組みを継続していく。
・電子メール利用による印刷物削減	○	
・コピー用紙の削減	○	
・ごみの分別	次年度	
◎水道水の削減	91%	≪目標未達成≫ 節水意識が高まり原単位では未達成であるが、総量においては消費量が増加している。要因としては、稼働機械・車両が多くなったことにより洗車等に消費する量が増えたと予想する。 （次年度） 引き続き取り組みを継続していく。
・節水の呼び掛け	○	
・清掃時の節水	○	
・漏水の点検調査の実施	次年度	
建設現場の経営課題への取組み	100%	≪目標達成≫ 事故やクレーム等については皆無であった。 ITC施工については1件、週休2日制工事については2件の取組みができた。 （次年度） 現場作業終了時の清掃及び整理整頓の強化に取組む。 また、ITC施工においても現場状況を見ながら積極的に取り組む。
ＩＴＣ施工への取組み	○	
クレーム件数	○	
事故・災害	○	
週休2日制取組件数	○	
	次年度	

⑥【環境関連法規等の遵守状況】

・法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（ 施設、設備、事業活動、等 ）	遵守状況
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物(廃プラ・廃油等)	遵　法
騒音規制法	破砕機、空圧機、空調機、重機	遵　法
振動規制法	破砕機、重機	遵　法
ダイオキシン類対策特別措置法	焼却炉	遵　法
消防法	貯油施設、少量危険物保管施設	遵　法
建設リサイクル法	特定建設資材	遵　法
オフロード法	バックホウ	遵　法
家電リサイクル法	家庭用電気機器	遵　法
自動車リサイクル法	全ての自動車	遵　法
フロン排出抑制法	業務用エアコン・重機	遵　法

※ 環境関連法規への違反はありません。
尚、関係当局より違反・訴訟などの指摘は、過去３年間ありませんでした。

■ 内部コミニケーション：掲示板をして情報共有している。

■ 外部コニニケーション：環境に対する苦情・要求はありませんでした。

2024年10月29日

環境管理責任者　宮 脇 典 行

⑦【代表者による全体評価及び見直し・指示】

エコアクション２１の運用を通じて日々の積み重ねと情報も共有化の必要性を従業員全体が理解し始めたと認識している。

節約・節減・安全管理など作業全般の見直しを継続していくことが良好な環境形成の向上に結びついていくものと考えている。

しかしながら、請負工事内容によりCO2の排出量が変化することに苦慮してところである。

今後においては、更なる削減・改善が行えるよう、取組の強化を図るとともに、更なる効率的な資源の活用・環境経営に関する従業員提案の受入れと実現手段の見直しを行っていく。

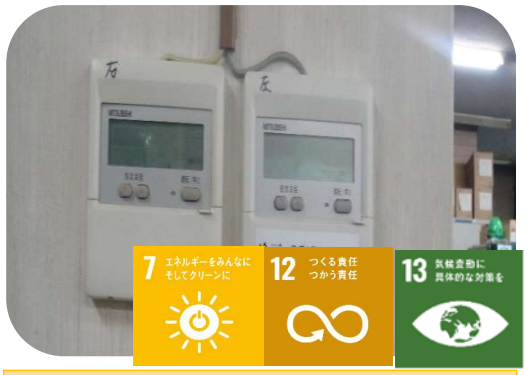
■ 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、実施体制、その他要素に変更なし。

令和6年10月29日

代表取締役社長

雪 岡　尚 弘

⑧【ＥＡ21社内活動の紹介】



≪空調温度の設定≫
エアコンの設定温度を
「冷房25℃、暖房22℃」に徹底

≪路面の清掃≫
現場周辺路面の清掃に心がけ、道路利用者の利便性を図る

≪トイレットカーの導入≫
現場作業等への活用
レンタルサービスも検討

≪ICT施工≫
ICTによる省エネ施工の実施

≪資源・有価物等の分別≫
中間処理後に出た製品を
適正に分別し管理する

≪散水車≫
散水車による工事現場の粉塵防止・清掃作業徹底